

上越新幹線魚沼トンネル南側坑口から 2.3km 地点

調査日：平成 16 年 11 月 7 日（日）

班：地盤土構造マネジメント班（鉄道システム班との合同調査）

分類別：被災状況

キーワード別：新幹線、トンネル

調査結果

従来型山岳トンネルの覆工が崩落した（写真 1、2）。軌道も鉛直方向に変形（写真 3）しており、軸方向に強い圧縮力 or 強制変形を受けたと考えられる。湧水もあり（写真 4）



写真 1 トンネル覆工の崩落



写真 2 軌道上への覆工破片の落下



写真 3 スラブ軌道の盛り上がりと破損



写真 4 覆工破損箇所での湧水